

【栄区】平成 30 年第 1 回区づくり推進横浜市議員会議 議事録

開催日時	平成 30 年 2 月 7 日 (水) 14 時 30 分 ～ 16 時 00 分
場 所	栄区庁舎本館 4 階 1 号会議室
出席者	<p>【座 長】興石 且子 議員</p> <p>【議 員：2 名】石渡 由紀夫 議員、大桑 正貴 議員</p> <p>【栄区：23 名】小山内 いづ美 区長、見上 正一 副区長、 近藤 政代 福祉保健センター長、 前田 博之 福祉保健センター担当部長、 鈴木 誠 土木事務所長 ほか関係職員</p>
議 題	平成 30 年度個性ある区づくり推進費予算案について
発 言 の 要 旨	<p>大桑議員：「平成 30 年度 栄区予算案」の自主企画事業について、子育て・子ども応援事業と広報・広聴事業の予算額が昨年度より減額となっているが、実績等を踏まえて予算額を見直したということか。</p> <p>根本学校連携・こども担当課長： 子育て・子ども応援事業について、放課後の子どもたちの地域支援事業が減額となっていますが、こちらの事業は中学校区を母体とした地域と学校の協働事業から事業転換し、地域が主体となって学齢期の子どもとの関係づくりを行うことを目的に 28 年度から豊田地区をモデル地区として実施しています。 29 年度は豊田地区以外の地域でも同様に事業転換する予定で、3 地区分の予算を計上しましたが、中学校区と地区連合区域が一致しない部分が多く、転換が難しいことがわかったため、30 年度予算では地域と学校の協働事業として予算を計上し直しました。</p> <p>金子こども家庭支援課長： EPDSスクリーニング事業については、昨年 6 月からこども青</p>

少年局の事業として産婦健康診査の中で実施されていることに伴い減額となっていますが、対象が市内で出産した方を対象としているため、栄区では市外で出産し妊婦健診を受けた方のみを区づくり推進費で予算計上し対応していきます。授乳相談及び妊婦・養育者メンタルヘルス相談についてもこども青少年局の事業として実施していますので、実績にあわせて予算計上しています。

雨堤区政推進課長：

広報・広聴事業の予算減額の主な理由ですが、1つ目は、広報さかえ発行事業の委託料の減です。2つ目は、隔年で実施している区民生活マップ及び区民意識調査について30年度は実施年度ではないため減となっています。

大桑議員：生活衛生普及啓発事業について、蚊の媒介感染症の対策事業を新たに実施する理由を教えてください。

古厩生活衛生課長：

最近デング熱やジカ熱といった感染症が局所的に流行しているため、できるだけ広い地域で取り組むことで未然に流行を防ぐことができるのではないかと考え、実施することにしました。各連合町内会から1町内会ずつ選出していただき、モデル地区として取り組んでいただくことで、それが他の自治会・町内会に広がっていけば感染症の流行の対策になるのではないかと考えています。

大桑議員：振り込め詐欺防止のために、栄区として実施していることがあれば教えてください。

早乙女地域振興課長：

振り込め詐欺防止のためのシールを6万枚作成し、自治会・町内会に加入している各世帯に1枚ずつお配りし、注意喚起を図るとともに、町内会で使用する回覧板の表紙に振り込め詐欺防止を記載したものを新たに作成する予定です。また、振り込み詐欺に狙われやすい高齢者の方を対象としたアンケートを現在実施しており、質問項目を通して啓発を行っています。

石渡議員：インバウンド推進事業についてですが、どのようなことを考えているのかももう少し教えてください。

見上副区長：ラグビーワールドカップ2019TMや東京2020オリンピック・パ

ラリンピックがありますので、まずは観光資源の調査から始めて、様々な団体と協力しながら日本文化体験プログラムの様なことが実施できればと考えています。

石渡議員：インバウンドは区だけで行うのは難しい部分があると思う。イベントで来られる方たちにいかにPRできるかというところも重要だと思うので、頑張ってもらいたい。

セーフコミュニティの再認証式典については、再認証を取得しなくても、なぜ認証されなかったのかということの後フォローが必要だと思うので、式典は開催したほうがいいと思う。

見上副区長：再認証を取得できるように頑張ります。

石渡議員：郊外住宅地の持続可能なまちづくりの推進について、経団連の意向も含めて、今どのような状況なのか教えてほしい。

雨堤区政推進課長：

29年度は「まちの再生・活性化委員会」を開催しており、その中で地域の方と意見交換を行っています。また、「旧庄戸中学校後利用分科会」「地域交通分科会」「こども・子育て分科会」という3つの分科会を開催し、テーマごとに議論をいただいています。今年度はそれぞれ独立して分科会という形で実施していますが、今後検討を進める中でそれぞれが関連していくことも踏まえ、30年度は合同で開催することも検討していきたいと思っています。

経団連については、今政策局と一緒に実施しているところです。昨年12月に経団連の企業8社に参加いただき、「第一興商」と「ルネサンス」という2社から提案をいただいています。

「第一興商」さんは歌と音楽ができるということで健康教室のご提案をいただいています。「ルネサンス」さんからは健康視点の地域活性化の取組ということで、他都市でも色々取り組まれている事例も踏まえてご提案をいただいています。こちらについては、地元からは地域の再生活活性化につながるような具体的な提案がほしいというような意見をいただいていますので、学校跡地の処分の方向性を踏まえながら、政策局と話を進めていきます。

石渡議員：安全・安心なまちづくりについて、防犯灯の新規設置の申請は自治会・町内会を通して申請をするという流れだと思うが、個

人から要望があった場合に自治会・町内会が認めないと設置できないということが課題だと思っている。他に設置できる方法はないのか。

早乙女地域振興課長：

防犯灯の設置について要望があった際は、区の担当者が夜点灯している時間に現場に行き確認をしています。設置の必要性があると判断した場合は町内会長に話をしています。

石渡議員：結局、新規で設置する場合は自治会・町内会からの要望で決めているのが実態だと思うが、自治会・町内会のエリアから外れている場所については設置の必要性を感じていない場合もあり、課題だと思う。

見上副区長：今後、市民局と調整しながら対応していきたいと思います。

石渡議員：明るい選挙啓発事業の関係で、栄区内の幼稚園や保育園の塀に政治家の掲示板が張ってあるが、問題ないのか。

見上副区長：幼稚園や保育園の塀に掲示されているということだけでは公職選挙法上、違法とは言えませんので、実際に確認をする必要があります。

興石議員：蚊の媒介感染症対策事業についてですが、横浜市全体で取り組むべき事業のようにも感じるが、どのように考えているのか。

見上副区長：まずは栄区独自で自主企画事業の中で実施し、局の事業へと展開していければと思います。

近藤福祉保健センター長：

補足ですが、泉区で既に自治会・町内会単位でこの活動を実施しています。この事業は、発生源を知っている地域の協力なくしては解決に結びつけるのは難しいと思っています。蚊になるのを抑制するため、ボウフラの成長を阻害するような薬剤を定期的に投与し、蚊の数が減少しているか、またその活動が蚊を無くすことに効果的かということを経験しながら一定の成果や方向先が見えてきた段階で地域ニーズなどに挙げ、全市的な事業化につなげていきたいと思っています。

興石議員：自治会・町内会加入率の高い栄区ならではの意識の高さということと連動しており、栄区のブランド力にもなると思う。セーフコミュニティ都市として安全・安心なリーダーシップを発揮

し、栄区発信で局事業へと展開していただければと思います。
インバウンド推進事業についてですが、民泊について法律が施行されますが、事業の中で何か考えているか。

早乙女地域振興課長：

まだ、民泊の検討は行っていませんが、魅力発信として活用できるツールでもありますので、ニーズを把握しながら、うまく取り入れていければと思っています。

興石議員：横浜市で制定を予定されている条例では、民泊は週末のみと制限されているが、ラグビーワールドカップ 2019™や東京 2020 オリンピック・パラリンピックも開催されるので、協力したいという方たちのニーズをキャッチできるような体制でいてほしい。

小山内区長：情報提供ですが、昨年 12 月に県立の高校生がインバウンドについて提案をしてくださいました。その中で、ホストファミリーとして受け入れることを考えていきたいというような意見もありましたので、日本の文化を身近で伝えるといったような栄区らしさを大切にしながら検討していきたいと思ます。

興石議員：さかえ・森の魅力づくり推進事業の、天園の案内板設置についてですが、環境創造局や消防局と協力して、実際に遭難した際に救助に結びつくようなキロポストの使い方というのを提案しているので、タイアップして取り組んでもらいたい。

雨堤区政推進課長：

安全・安心というところも含めて、どのような看板を設置するかはこれから検討していきたいと思ます。

興石議員：生ごみ等堆肥化事業の「ミニ・キエーロ」のモニター募集についてですが、どのような視点でモニタリングを行うのか、あがってきたデータの活用方法とあわせて教えてほしい。

高荷資源化推進担当課長：

モニターになられた方を対象に、使用后、意見交換会を行っています。また、アンケートを実施し、実際に使ってみた効果や、キエーロの購入場所、購入費用について意見をいただいていますので、今後の普及や拡充に活用していきます。

興石議員： みんなで健康づくり推進事業の健康器具等の整備についてで

	<p>すが、健康器具とは何を想定しているのか。</p> <p>林福祉保健課長：保健活動推進員の方が地域での健康づくりの教室やイベントなどで使う握力計や体脂肪計を想定していますが、実際に活動されている保健活動推進員のみなさんと相談しながら決めていきたいと思っています。</p> <p>興石議員：一般向け普及啓発イベントについてですが、先日のパラフェスタ♥さかえは障害者施設の充実している栄区でアートとパラが融合した成果の1つだと思う。パラに対してのハードルの低さというのは栄区のブランドになると思うので、今後もスポーツの視点も含めて取り組んでほしい。また、区の自立支援協議会について後ほど教えてほしい。</p> <p>大桑議員：商店街にぎわい創生事業について、新たに作成する商店街マップは、区内の全商店街を紹介するのか。</p> <p>早乙女地域振興課長： 区内全体の商店街振興という視点で全商店街を紹介するようなマップを作成する予定です。</p> <p>興石議員：最後に、会議報告書の作成についてですが、座長に一任させていただいてよろしいですか。</p> <p>石渡議員・大桑議員：了承。</p>
備 考	